

2023 年度 日本泌尿器科学会 (JUA)/欧州泌尿器科学会 (EAU) 交流プログラム

2023 JUA/EU Resident Programme 参加報告

青 柳 力 夫 (福岡大)

この度、3月10日～13日にイタリアのミラノで開催されたEAU23に、JUA/EU-Resident programmeの一員として、参加させていただきました。実のところ、このプログラムには3年前に参加予定でありましたが、コロナウイルス感染拡大により延期されていました。半ば参加を諦めかけていましたが、JUA、EAUの方々のご尽力のおかげで今回参加が実現しました。この場をお借りして感謝申し上げます。

学会では、主に前立腺肥大症に関するセッション、またLive Surgeryに参加しました。前立腺肥大症のセッションでは、馴染みのないUroLiftやAquablationの臨床成果や、基礎部門では前立腺細胞株を用いた増殖機序の解明、新たな増殖抑制薬剤の報告を聞き、研究欲を刺激されました。Live Surgeryでは、イタリアのいくつかの手術場からライブ中継され、経尿道的手術からロボット手術まで、多くの手術を観ることができます。人気のセッションで、会場では推定1,000人以上の泌尿器科医がイヤホンでディスカッションを聴きながら手術モニターを真剣に観ていました。その場にいるだけで世界中の泌尿器科医と手術を共有している気持ちになり、幸せ

な時間となりました。

EAU自体非常に有意義な経験でしたが、一番の財産はJUA-EU Resident Programmeに共に参加した楊井先生と丸山先生と交流できたことです。学会2日目には、世界各国の泌尿器科医が参加するResident Partyに、3人で参加しました。開始時は、ライトが怪しいクラブのような中、多くの外国人が入り乱れている状況に圧倒され、「丸山先生が声かけて下さいよ.」、「いや、楊井先生が先に声かけて下さい。」と譲り合いという名の押し付け合いをしていました。しかし、楊井先生が先陣を切って、その後、私も丸山先生も、各国の泌尿器科医と会話できたのはいい思い出です。また、2人とはイタリア観光も一緒にして、その中でお互いの臨床、研究、今後の展望について話し合いました。他大学の泌尿器科の先生とこれ程濃厚に交流できるのは、JUA-EU Resident Programmeの魅力だと思います。

最後になりますが、JUAとEAUの国際委員会の皆様、学会参加をサポートして下さった羽野宣博教授に、心より御礼申し上げます。この経験を活かして、診療、研究に邁進します。



Live Surgery



AC ミランの試合観戦